

石巻地区支援活動報告

6月4~5日、埼玉県連8人（新座山の会5人、所沢ハイキングクラブ1人、大宮労山2人）で支援活動に行ってきました。現地では千葉県連、群馬県連、兵庫県連からの応援部隊、地元宮城県連とも合流し、総勢30人で、石巻市渡波地区のビニールハウスでの作業をしてきました。ハウス内はキュウリの収穫直前だったとのことでしたが、キュウリは跡形もなく、流れ込んだ津波でヘドロと稲藁や軽いゴミ類が堆積していました。作業内容は破れたビニールの撤去と耕作地表面を覆ってしまったゴミとヘドロ部分を削り取るというもので、30人で1日半かかって、2棟のビニールハウスをなんとか終わらせてきました。それでも、この先作物を作るには耕地を水で洗い、新しい土を入れ混ぜたり、石灰を混ぜたり・・・、それでもちゃんとできるかどうかという。今年は土壤の改良状況が心配なので、水耕栽培設備にして様子を見ることも考えているとのこと。ビニールハウスの見通しがついたら、露地も同様に整備しなければ使えないとのこと。まだまだ、以前の状態になるまでの道のりは遠いようです。

今回は作業用具（スコップ・レイキ・草刈り鎌・運搬用一輪車等）は有り、仮設トイレが有り、ポリタンクに水も用意されており、作業環境条件は良いところだったと思います。宿泊場所も車で20分位のところの公民館を貸し切ってもらっており、電気・水道・ガス完備で、調理場も使わせていただきました。風呂もそこから20分位のところの「道の駅・上品の郷」で入ることができました。

今回、現地での作業コーディネートと夜の懇親会で現地会員岡さんに大変お世話になりました。ありがとうございました。

作業の後、岡さんにアドバイスいただき、津波の爪痕を見てきました。絶句。是非、機会があれば自分の目で見ていただきたい。

支援物資は夏物衣料品・靴下・雑巾・食器・巾着袋など物品の他、裁縫道具や編み物セットなどもいいのではないかと思います。また、物品の支援の他、絵本の読み聞かせのような支援もできそうです。

大宮労山 谷脇京子